

小学4年生用

あゆむ

なかちゃんと歩くんの

エコエコ大作戦!!



那珂川町
那珂川町教育委員会

はじめに

みんなが住んでいる那珂川町は、川や山など豊かな自然に恵まれています。でも、みんなのまわりにごみが落ちているのを見たことはありませんか？

こんなに自然に恵まれた美しい那珂川町なのにどうしてごみが散らかっているのだろう？ どうしたらごみが減らせるのだろう？ みんなも知らない間にごみを出していない？

この本は、みんなのまわりで起きている身近な環境問題を知ってもらい、きれいで住みよい那珂川町にするにはどうしたらいいのか、みんなと一緒に考えようと作ったものです。この本で勉強したことを、友だちや家庭でも話し合ってみましょう。そして、その中で自分ならできそうな目標を見つけてみましょう。

どんな小さなことでも一人ひとりができることを積み重ねていくと、大きな輪になっていきます。地球の環境を守ることはみんなの力にかかっています。



登場人物紹介



【名前】 なかちゃん

【性格】 だれとでも「なか」よくなれる
きれい好き

【趣味】 川にすむ魚と話ができる

【好きな食べ物】 いちご、ギョーザ、竹の子ご飯

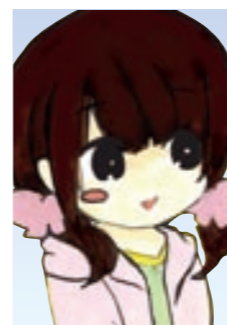


【名前】 歩くん(小学4年生)

【性格】 やんちゃ
ともだち思い

【趣味】 体を動かすこと

【特技】 リフティング100回



いとこの
由衣ちゃん

イラストを描く
のが大好き



あゆむ
歩くんの
担任の先生

国語の先生



あゆむ
歩くんの
お父さん

リサイクルの
達人



あゆむ
歩くんの
お母さん

料理を作るのが
上手

「あっちこっちにごみ発見!!」





みんなで話し合ってみようコーナー①



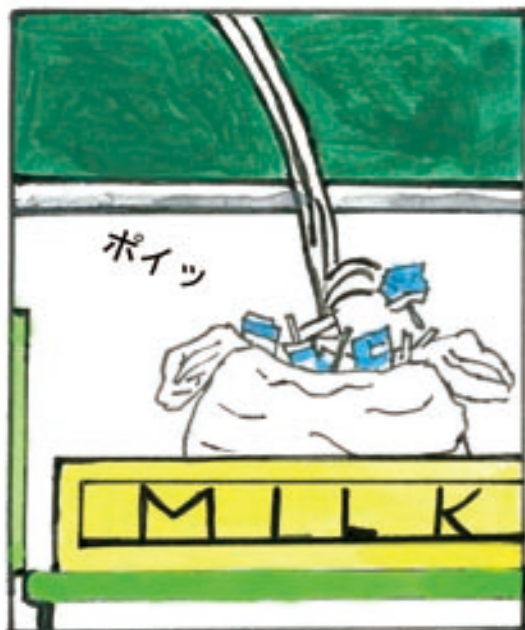
Q1

あなたは那珂川町の中で、町をおとずれた方にじまんでできる場所がありますか？
ぜひ、案内してみたいと思うところはどこでしょう？

Q2

もし、そこがよごれていたり、ごみが落ちていたら、あなたはどのように感じますか？

「そうだったんだ! ごみのゆくえ」





※空気もよごれる…物をもやすと、地球全体を暖めてしまう二酸化炭素が出ます。



みんなで話し合ってみようコーナー②



Q1

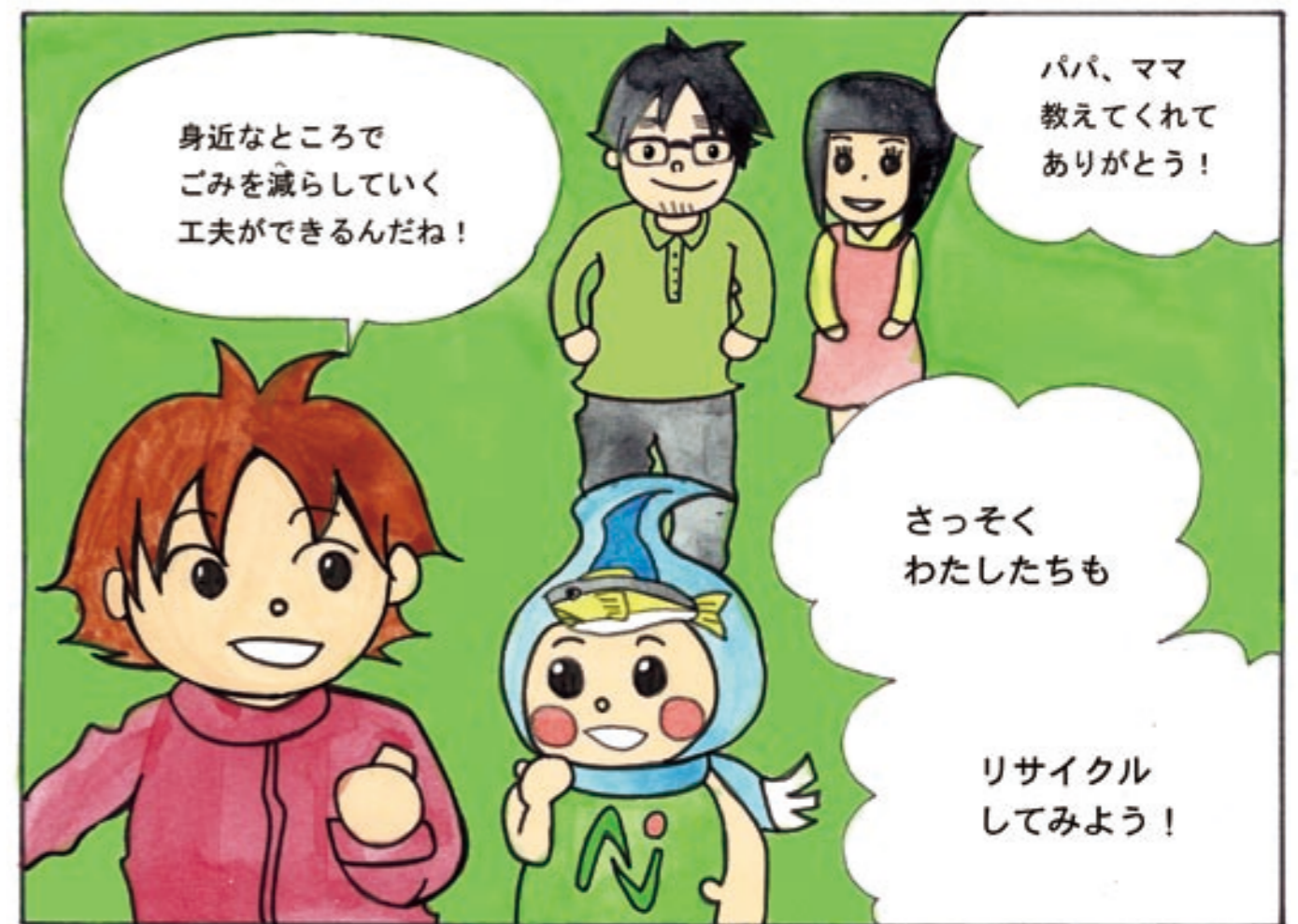
あなたは学校の行き帰りや遊びに出かけた時、ごみが落ちているのに気づいたことがありますか？(どこで？どんなもの？)

Q2

だれが、なぜごみを捨てているのでしょうか？どうしたら、きれいな町にできるのでしょうか？

「わたしたちにできるエコ作戦!!」





みんなで調べてみようコーナー



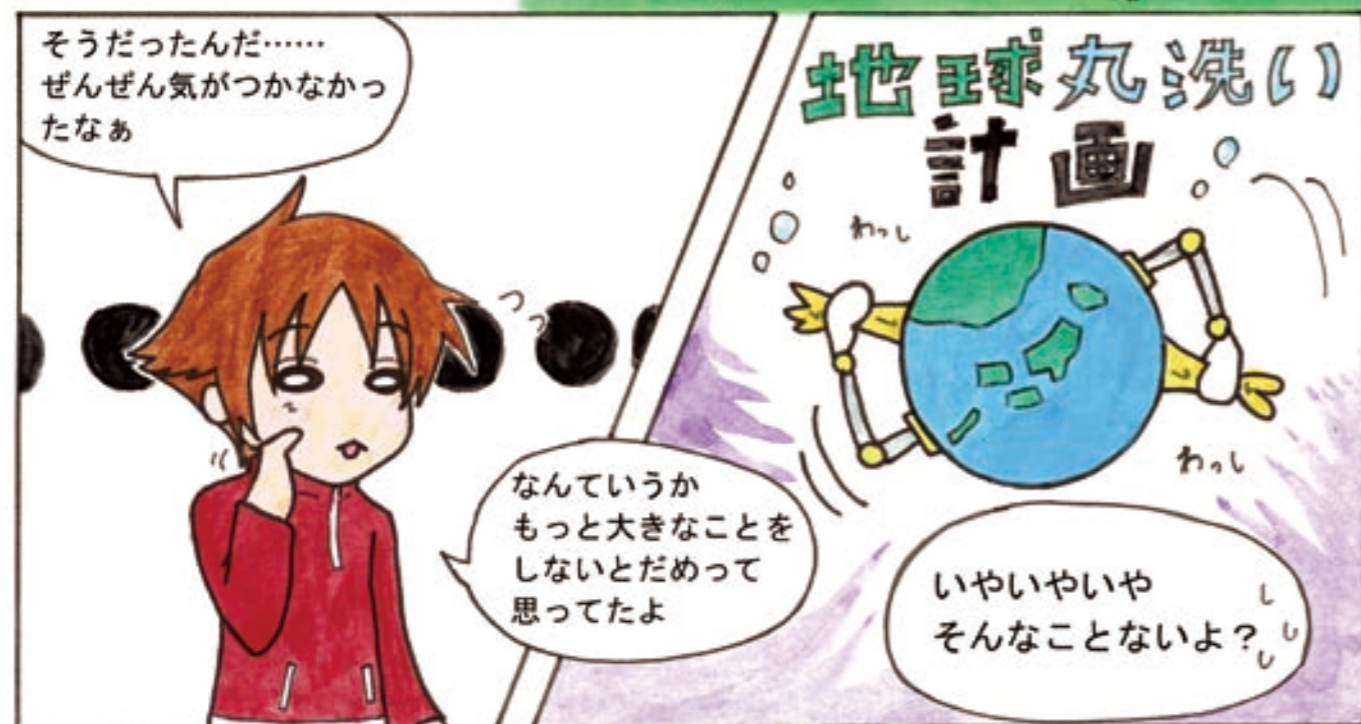
Q1

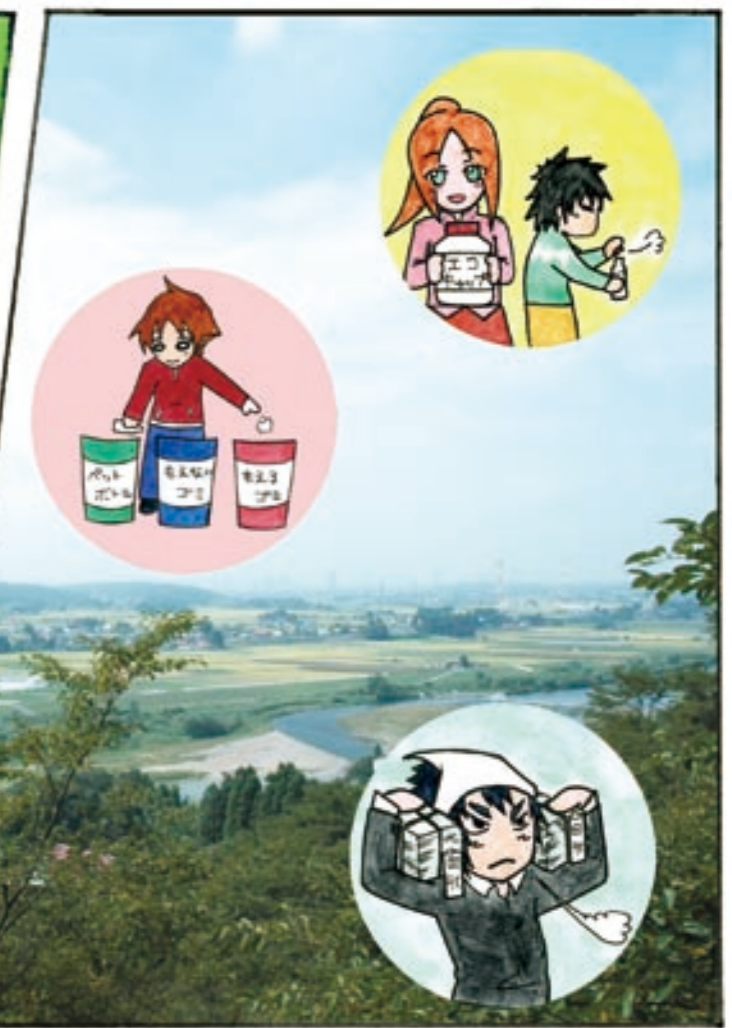
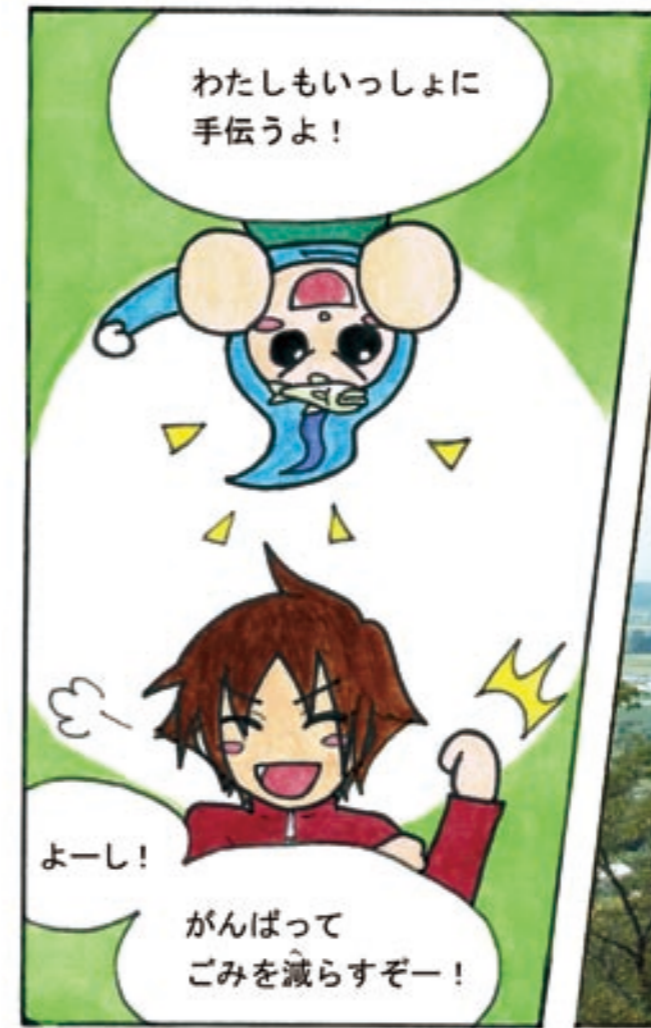
ペットボトルがエコバッグに生まれかわるように、どのような物がリサイクルできるのかを調べてみよう。

Q2

学校や地域の美化活動について調べてみよう。(児童会、地域の子ども会、自治会、ボランティアグループなど)

「作戦開始!!」





みんなで発表しようコーナー



Q1

あなたはごみを減らすために、学校や家でどのようなことができますか？ または取り組んでみたいですか？

町は ^へごみを減らすために このような取り組みを行っています

■生ごみ収集モデル調査

家庭から出る生ごみは、もえるごみとして保健衛生センターでもやされていますが、この生ごみを肥料に変えることができないか、実験をしました。その結果、生ごみから、いい肥料ができることがわかり、町全体で取り組むことができないか、話し合いをしています。

①生ごみともえるごみを分けて出してもらいます。



②生ごみを1か所に集めて、重さなどを測ります。



③生ごみを牛フンと混ぜて、できあがり待ちます。



④3か月かけてできた肥料は、サラサラです。



⑤肥料は、学校や保育園で使ってもらいました。



…循環型社会をめざして…

町では、一人ひとりが限りある資源を大切にし、環境にやさしいように、できるだけごみを出さない、出たごみは、もう一度使えるようにしようという循環型社会をつくる取り組みを始めています。

ここで紹介した生ごみを肥料に変えるという実験もその一つです。

■レジ袋の使用を少なくする取り組み

レジ袋の使用をできるだけ少なくしてもらうため、エコバッグを各家庭に配った他に、レジ袋の使用を少なくするようお店にお願いしたり、お客さんへの呼びかけを行っています。

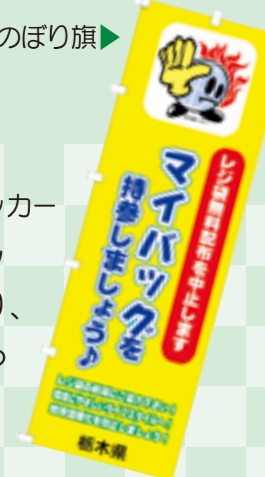
①店頭でのお客さんへの呼びかけ



②協力をいただいているお店の目印



のぼり旗▶



◀ステッカー

お店の入り口にステッカーがはってあったり、のぼり旗が立っているからすぐに分かるよ。

■出前講座やエコ・チャレンジスクール

地域や学校からの呼びかけがあったときは、みなさんのところに出向き、出前講座やエコ・チャレンジスクールに協力しています。

①地域の人や子どもたちとごみ分別の勉強



②子どもたちと新聞紙を使ったエコバッグづくり



③エコ・チャレンジスクールでのマイはじづくり



町では、いろいろな取り組みをしているんだね。



先生と保護者のみなさまへ

■この本のねらい

私たちが生活している中で何気なくごみを出しているという
ことを、子どもたちに気づいて欲しいと思っています。

そして、子どもたちが自分の問題として、どのようにしたら
那珂川町のごみを減らせるのかを考え、身近なところから
実行していこうとする意欲を持ってもらうことを目的として
います。

■ご利用にあたって

小学校3・4年生を対象とした社会科の副読本と併せて、環
境について考えるきっかけとなるようこの本をご活用ください。
その際には、学習の発展として、話し合い・調べ学習コーナー
を利用していただければありがたいです。

また、家庭では、子どもさんとの会話や触れ合いの中で、
環境について考えるきっかけとして、ご利用いただければ幸
いです。

ご協力いただいたみなさま

◆監修

環境のまちづくり推進会議環境学習部会	部会長	平塚正一郎	(町教育委員会教育委員長)
	委員	永森正俊	(行政区長連絡協議会)
	委員	大高トミ	(食生活改善推進員協議会)
	委員	屋代俊一	(那須南農業協同組合馬頭支店)
	委員	薄井和子	(リオン・ドール小川店)
	委員	中武大志	(うおまつ馬頭店)
	職務代理者	大金清	(町教育委員会学校教育課)
	委員	稲澤正広	(町教育委員会生涯学習課)

◆製作

宇都宮メディア・アーツ専門学校 (まんがアート科H22年度生が共同で制作)	学生	石川恵美
	学生	伊東英朗
	学生	猪瀬健太郎
	学生	佐藤友美
	学生	田崎真実
	学生	船橋 弥
	学生	吉田 脩平
	担任	大野 諒子
宇都宮メディア・アーツ専門学校	広報部	石川 巖哲
町教育委員会学校教育課	指導主事	山口 雅夫
馬頭西小学校	教頭	小室 功一
小川中学校	教諭	鈴木 正一
町環境総合推進室	担当	佐藤 禎晃

◆環境教育に関する共通資料選定審査委員会(順不同)

那珂川町	副町長	佐藤 佳正	(審査委員長)
環境のまちづくり推進会議	会長	秋元 正吾	(副審査委員長)
馬頭小学校	教諭	小森 敏行	
馬頭西小学校	教諭	川上 正美	
馬頭東小学校	教諭	小林 茂雄	
小川小学校	教諭	小野里 俊文	
小川南小学校	教諭	齋藤 義雄	
薬利小学校	教諭	菊地 正治	



那珂川町立		小学校	
4 年	組	名前	